## ★★ 今後の予定 ★★

#### ■医療・福祉・保健・教育機関への協力事業■

- ★伊豆市教育委員会 特別支援教育巡回相談(H24年9月~)
- ★11月9日(金)

沼津市私立幼稚園協会様の依頼により保育者のメンタルヘルス講話

★11月18日(日)午後1時~4時

静岡県教育委員会主催「ニート・ひきこもり・不登校合同相談会」への参加(三島市民文化会館) 午前10:30~正午までは、日本福祉大学名誉教授竹中哲夫氏の講演があります。

#### ■会員向けの勉強会■(変更の場合あり)

★東部心理アセスメント研究会(ロールシャッハ・テストを中心とした心理検査の査定技術の勉強会) 基本的に毎月第一金曜日 18:30~20:30 東部パレット 9/7 10/5 11/2 12/7

★子どものそだち研修会(不登校、非行、発達課題など子どものそだちを考える勉強会) 基本的に毎月第三木曜日 18:30~20:30 東部パレット 9/20 10/18 11/15 12/20

#### ■一般講演会■

★不登校・ひきこもり支援事業 講演会「不登校~タイミングの良い支援のポイント(仮)」

日 時:平成24年12月9日(日)13:00~17:00

場 所:三島市民生涯活動センター 講義室

講師:静岡大学教授江口 昌克先生(臨床心理士)

対 象:不登校児を持つ保護者、学校関係者、支援者など 定員 130 人

参加費: 1,000円(資料代)

Be サポートの目指す柱の一つである「不登校・ひきこもり支援事業」の旗揚げとなる講演会です。 今回は特に、不登校の初期対応、長期休みや年度替り、進級時などの対応について、お話しいただく 予定です。多くの方のご参加お待ちしています。お申し込みは Be サポート事務所まで。

#### 特定非営利活動法人



〒410-0056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201 Tel&Fax 055-925-1701

E-mail <u>be-sapo@mail.wbs.ne.jp</u>

URL http://www.geocities.jp/be\_sapo/



編集後記 設立から1年半、ようやく会報

を作ることになりました。今回は創刊号とい

うこともあり、盛りだくさんの内容となりま

した。今後、年3回程度発行し、活動予定や

新しい情報を皆さまにお知らせしていきたい

と思います。皆様からのご意見などもお待ち

しています。ホームページも

合わせてご覧ください。

NPO 法人臨床心理オフィス Be サポート

#### 創刊号 2012年10月1日発行

# クローバー通信 \*\*\*



# **巻頭言** 理事長 皆川 行寬

「NPO法人臨床心理オフィスBeサポート」が認可されたのが昨年、平成23年5月24日でした。設立後1年半経過してしまいましたが、ようやく会報「クローバー通信」の創刊号が完成致しました。ぜひお手に取り、Beサポートの日々の活動をご理解戴けたらと思います。

当法人の設立趣旨は、乳幼児期から老年期、また、保健、医療、福祉、教育など様々な専門分野に精通した臨床心理士集団が地域からの様々なニーズ(発達障害、虐待、いじめ、不登校、引きこもり、精神疾患、被害者支援、就労支援など)に沿って、幅広く地域貢献することを目的に発足しました。当初、臨床心理士7名で準備し、現在は正会員36名、準会員11名 合計47名の組織にまで成長しました。職種も医師、看護師、保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、児童指導員、スクールカウンセラーなど多岐にわたっております。今後も少しずつ会員数が増え地域の精神保健への理解が広がっていけばと思っています。

現在はバブルの破綻以来の経済不況が長期化し、また、昨年3月11日の東日本大震災の復興も遅々として進んでいません。また、内政、外交の政治状況も全く見通せず、ますます社会全体に不安定要素が広がってきているように見えます。人々の心も、不登校、ひきこもり、いじめ、自殺、虐待、など社会の不安定さを反映しているかの様に思えます。当法人は、今こそ地域で起こっている様々な心の問題に積極的に対応できると思っています。

『Beサポート』という団体名は、「生きることを支える」「生活を援助する」ということからつけています。今年度は、法人として、日々の心理カウンセリング、心理検査は勿論のこと、特に発達障害支援事業と東日本大震災関連の事業に力をいれたつもりです。これから、不登校、ひきこもり、いじめ問題、自殺などの講演会も企画中です。

今後、法人として事業を整理して組織づくりをしていく必要があると考えていますが、来年度中に新規事業として、就学前のお子さんの児童発達障害事業にとりかかろうと考えています。

当NPO法人 臨床心理オフィスBeサポートは、発足してまだ1年半にもなりません。未熟な法人ですが、日々の具体的な地域活動を通して少しでも社会に受けいれられ、社会の役に立つようスタッフー同、日々精進していく所存です。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



# 法人開設後の活動(平成23年5月~平成24年8月末)

#### ■相談・カウンセリング事業■

- ★カウンセリング、プレイセラピーや心理検査・発達検査の実施
- ★東日本大震災で静岡県東部地域へ避難されている方々へのサポート活動「OHANA」

(H23年7月~毎月1回)

- ★子どもの発達に関する無料相談会(H24年6月3回)
- ★静岡県東部震災避難者無料相談(伊豆市·伊東市·富士市·御殿場市各 1 回、沼津市随時実施中)

#### ■医療・福祉・保健・教育機関への協力事業■

- ★静岡県教育委員会 子ども・若者支援機関に登録(H23年6月~)
- ★静岡県東部精神保健センター主催引きこもり個人相談と家族教室の講師派遣(H23年~ 年10回)
- ★函南町就学指導委員会、特別支援専門家会議への協力(H23年~ 年5回)
- ★函南町福祉課主催「函南町まちづくりセミナー」講師(H23年10月)
- ★国立中央青少年交流の家主催「子ども防災カトレーニングキャンプ」への講師派遣(H23年12月)
- ★伊豆市社会福祉課 巡回支援専門員派遣(H24年4月~ 年14回)
- ★静岡心療内科メンタルクリニックへの協力(H24年~ 週1回)
- ★静岡県東部震災避難者支援協議会 協働事業参加
- ★静岡県教育委員会主催「不登校·ひきこもり·ニート等の支援と理解」合同相談会参加(24年8月)
- ★ふじのくに NPO 活動センターや静岡県東部パレット主催の講演会や交流会に参加

#### ■企業・事業所への支援事業■

★東京カウンセリングセンターとの業務提携(H23年12月~)

#### ■研修事業■

- ★会員、援助者対象の勉強会の開催(それぞれ月1回) 「子どもの育ち研修会」「東部心理アセスメント研究会」
- ★一般講演会「発達に偏りのある子どもへの家庭学習・家庭生活の工夫」(H24年6月)



#### ▶ 助成ありがとうございます

- \*NPO イーパーツ様より「リユース PC 寄贈プログラム」にてパソコン 1 台を頂きました。 \*メットライフアリコ様より
  - 「JOIE 震災復興支援プログラムメットライフアリコ社員寄付子ども支援プログラム」にて 「OHANA」のための活動資金を助成していただきました。
- \*NPO法人モバイルコミュニケーションファンド様より「ドコモ市民活動団体への助成」にて 25年度 発達障害支援事業の活動資金を助成していただきました。

# 主な活動のご紹介

被災地から避難している方のための交流活動「0HANA(オハナ)」 を昨年7月から毎月1回行っています(「OHANA」とは、ハワイ語で絆、 家族という意味です)。昨年度は、会員の皆様などの寄付をもとに活動を 行いましたが、今年度は「メットライフアリコ社員寄付子ども支援プロ グラム」の助成を受けることができ、内容を充実させ継続させることが できました。



内容は、子どもはゲーム、工作、スポーツ、料理など。大人は茶話会。年に数回は、韮山イチゴ狩りや富 土山こどもの国など、静岡ならではの体験活動を楽しんで頂いています。

スタッフは、参加者にただ寄り添わせていただく、ということを心がけており、これまでに子ども・大人 延べ 180 人が参加され、被災者の方々からは「知らない土地で馴染むのが難しかった子どもが明るくなった」 「小の支えになっている」「元気をもらえる」などの声を頂きました。今後も継続して活動を続けていきたい と思っております。野外活動などでは会員の皆様のご協力をお願いする場合もございますが、よろしくお願 いいたします。

★被災後のお悩み、お困りごとを個人的に相談したいという方のためには、臨床心理士による個別の 相談を無料で実施しています。(場所 Be サポート相談室 1回 50分 予約制)

#### 発達障害支援事業「発達の偏りのある子どもへの家庭学習・家庭生活の工夫」

#### 講演会・無料相談会を実施して



2012年6月24日、サンウェルぬまづにて、『発達に偏りのある子ど もへの家庭学習・家庭生活の工夫』講演会・無料相談会を開催しました。 当法人も設立1周年を迎え、その記念講演としての意味もあり、初めて規 模の大きな講演会でした。講師には、静岡大学教育学部准教授の香野毅先 生をお招きし、発達に偏りのある子どもの特性と、家庭での具体的な対応 の仕方・声かけのコツ等についてご講演頂きました。

講演会は当初 100 人程度の参加者を見込んでおりましたが、151 名のお申し込みを頂き、無料相談会は 定員を超えたためお断りさせていただいた方もありました。参加者からは非常に好評の声をいただきました。

本事業を行い、非常に地域のニーズが高いことを、改めて実感するとともに、継続して事業を実施していく 必要性を強く感じました。来年度は、発達障害支援事業に対して、ドコモ市民活動団体からの助成が決定し、 参加者のご負担を軽減した形で、引き続き事業を行う予定です。

今回の事業運営には、会員の皆様にも多くのご協力を頂きました。この場をお借りして、御礼申し上げます。 本当にありがとうございました。(理事 三須友恵)

### 会員動向(2012年9月1日) 正会員 38名 賛助会員11名

当団体の活動に賛同して下さる方を ご紹介ください。 多くの方の入会をお待ちしております。